

環境補足データ

ハウス食品グループは、地球環境の大切さを認識し、環境に配慮した企業活動を通して恵み豊かな地球の存続に貢献するために、2030年に向けた長期環境目標を定め、環境負荷の低減に取り組んでいます。

特にCO₂・廃棄物の排出量削減、水使用量の削減は重要な課題と認識し、実態の把握、改善、検証などの活動を継続的に行っていきます。

CO₂排出・エネルギー使用

地球温暖化の問題は、事業活動のベースとなる原材料を自然の恵みに依存している私たちにとっても、大きな課題であることを認識し、全ての事業所で省エネ、省資源に取り組んでいます。

■エネルギー使用に伴うCO₂排出

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CO ₂ 排出量 [百 t]	1,302	1,327	1,288	1,275	1,284	1,255	1,213	1,202
Scope1 (燃料使用)	569	561	541	551	562	558	543	539
Scope2 (電力購入)	732	767	747	725	722	697	670	663
原単位[t/売上高百万円]	0.477	0.494	0.481	0.461	0.455	0.441	0.434	0.449
国内	1,037	1,083	1,020	994	1,002	973	912	860
海外	265	244	269	282	282	282	302	342

※温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver4.7) (令和3年1月)を使用。

(電力：特定排出事業者が温室効果ガス排出量算定のために使用する環境省・経済産業省公表「電気事業者別排出係数」の調整後排出係数を使用)

※海外の電力排出係数は、2018年度 IEA 発表データを使用。

■エネルギー資源

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
エネルギー使用量 [TJ]	1,528	1,498	1,465	1,486	1,505	1,494	1,474	1,501
原単位[TJ/売上高百万円]	0.00559	0.00557	0.00546	0.00537	0.00533	0.00525	0.00527	0.00560
ガソリン [kl]	781	654	628	621	562	527	443	288
灯油 [kl]	5	5	3	3	4	2	2	2
軽油 [kl]	1,233	1,243	1,084	958	848	773	202	93
LPG・ブタン [t]	2,383	2,384	2,482	2,453	2,377	2,400	2,407	2,327
重油 [kl]	1,323	1,191	1,205	1,246	1,227	1,118	1,110	1,056
天然ガス [万 m ³]	442	471	458	490	505	534	555	622
都市ガス [万 m ³]	1,401	1,363	1,295	1,320	1,385	1,365	1,352	1,344
蒸気 [t]	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840	1,971	3,840	17,170
電力 [MWh]	149,679	144,895	145,223	146,220	145,509	145,047	144,058	144,902

※「経済産業省資源エネルギー庁源別標準発熱量・炭素排出係数(2018年度改訂)の解説 2020年1月」を使用

※蒸気のエネルギー換算は、経済産業省資源エネルギー庁「令和2年度エネルギー消費統計調査 蒸気換算方法」を使用

廃棄物等総排出量

限りある資源の有効活用のため、事業活動に伴い発生する廃棄物等の発生を抑制する（Reduce）とともに、発生した廃棄物等は再利用する（Reuse）または再資源化する（Recycle）、「3R」に継続的に取り組んでいます。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
廃棄物等総排出量 [百 t]	371	397	398	384	404	422	416	448
原単位 [t/売上高百万円]	0.136	0.147	0.149	0.139	0.143	0.148	0.149	0.167
国内	121	128	133	133	135	133	127	136
海外	250	269	265	251	269	290	289	312
リサイクル率	94.6%	94.1%	86.9%	94.8%	95.7%	95.3%	99.6%	99.4%

※廃棄物等総排出量には、有価物としてグループ外に販売した重量も含まれます。

水

世界的な水リスクへの意識の高まりの中、ハウス食品グループにおいても安全な水資源の確保は事業継続のための重要な課題であると認識し、水使用量の削減・循環利用に取り組んでいます。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
水使用 [万トン]	185	186	177	192	195	193	198	196
原単位 [t/売上高百万円]	10.31	10.72	10.19	10.88	11.03	10.86	10.98	11.29

【集計対象】

CO₂排出・エネルギー使用、廃棄物等排出量

国内：ハウス食品グループ本社、ハウス食品、サンハウス食品、サンサプライ、ハウスウェルネスフーズ、ハウスビジネスパートナーズ、ハウス物流サービス、ハウスあいファクトリー、朝岡スパイス、デリカシェフ、壺番屋、ギャバン、マロニー、ヴォークス・トレーディング
 海外：ハウスフーズアメリカ社、上海ハウス食品社、大連ハウス食品社、浙江ハウス食品社、ギャバンスパイスマニュファクチャリング社、ジャワアグリテック社、ティムフード社

※壺番屋のフランチャイズ店舗は対象外としています。（壺番屋のフランチャイズ店舗のCO₂排出はSCOPE3で算定対象としています。）

※基準年度（2013年度）にグループ会社でなかった壺番屋、ギャバン、マロニー、ギャバンスパイスマニュファクチャリング社、ジャワアグリテック社、大連ハウス社、浙江ハウス社の各データについても算定範囲としています。

※一部は把握出来ている年度の実績を使用して推計しています。

リサイクル率、水

ハウス食品の工場、ハウスウェルネスフーズの工場、サンハウス食品、サンサプライ、あいファクトリー、デリカシェフ

Scope3

ハウス食品グループでは 2021 年度から CO2 削減活動の対象をサプライチェーンにまで拡大させ、組織活動のあらゆる面から、環境活動を推進することとしています。「Scope1 & 2」だけでなく、ハウス食品グループの「Scope 3」全体量を把握し、ステークホルダーの皆様に情報開示し、グループ全員参加で「Scope3」の排出量を削減し、社会への責任を果たしてまいります。

■ 2020 年度 Scope3 算定結果（国内グループ全体）

			[t-CO2]	[%]
SCOPE1			53,893	4.2%
SCOPE2			66,315	5.2%
SCOPE3			1,164,744	90.6%
1	原材料・サービス	原材料、仕入商品、サービス等、製品が製造されるまでの活動に伴う排出	757,632	59.0%
2	資本財	設備投資（リースを除く）；建設・製造設備に伴う排出	35,557	2.8%
3	燃料・エネ上流	電気や燃料の原料採掘・輸送に伴う排出	16,816	1.3%
4	輸送、配送	原材料等自社への物流、卸店等までの製品物流に伴う排出	46,755	3.6%
5	事業系廃棄物	事業から出る廃棄物の輸送・処理に伴う排出	3,282	0.3%
6	出張	従業員の出張に伴う排出	1,197	0.1%
7	通勤	従業員が事業所に通勤する際の移動に伴う排出	6,310	0.5%
8	リース資産上流	賃借リース資産の操業に伴う排出 →非該当 (Scope1&2 で算定済)	0	0.0%
9	輸送・配送	卸店等倉庫から各店舗までの製品物流に伴う排出	5,987	0.5%
10	製品の加工	販売した中間製品の加工に伴う排出 →非該当	0	0.0%
11	製品の使用	消費者・事業者による製品の使用に伴う排出	227,807	17.7%
12	製品の廃棄	消費者・事業者の製品の廃棄時の処理に伴う排出	9,097	0.7%
13	リース資産下流	賃貸しているリース資産の運用に伴う排出 →非該当	0	0.0%
14	フランチャイズ	加盟店の排出量 →壱番屋 FC 加盟店の Scope1&2（直営店除く）	54,303	4.2%
15	投資	株式投資、債券投資、プロジェクトファイナンスなどの投資先の活動に伴う排出 →非該当	0	0.0%

※GHG プロトコルに基づき、算定に必要となる活動量と原単位（IDEA、GLIO、環境省 DB 等）を用いて算定。

※Scope3 の算定結果は、みずほリサーチ&テクノロジーズによる第三者レビューを実施しております。

【集計対象】

Scope3

ハウス食品グループ本社、ハウス食品、サンハウス食品、サンサプライ、ハウスウェルネスフーズ、ハウスビジネスパートナーズ、ハウス物流サービス、ハウスあいファクトリー、朝岡スパイス、デリカシェフ、壱番屋、ギャバン、マロニー、ヴォークス・トレーディング

※海外子会社は今後算定予定です。